

おひさま サクラダ

2017



vol.172 **5**



はいっポーズ!

《上常呂地区・広郷》

宮本裕一さんと陸駆くん・耀羽くん
(紹介は2ページです)

特集

第14回きたみらい農業
協同組合通常総代会



玉葱の移植

季節の薫り



きたみらい管内では基幹作物である玉葱の定植作業が4月中旬から一斉に始まりました。今期は冬場の積雪が少なく、4月に入ってから好天が続いたことで、例年より一週間ほど早いスタートとなりました。

昨年、当JA産玉葱の収穫量は平成15年の合併以来最高だった一方で、一部地域は大雨で収穫前の作物流出などの被害を受けました。復旧も進むなか、生産者は昨年同様の収穫量に期待を込めて作業に取り組んでいます。

きたみらい玉葱振興会の土山清隆会長の圃場では21日から今年の定植作業を開始。土山会長は「今年は災害がなく、どの生産者も収量が確保出来ることが一番」と思いを語りました。

(石井 睦美)

写真は4月21日、端野地区で撮影。当JA管内のタマネギ作付面積は約4,600㍏、収穫量は約25万5,000㍏を見込んでいます。

もくじ CONTENTS

- おひさまサラダクッキング……16
- 「パプリカのツナグラタン」
「ピーマンのきんぴら」……10
- JAからのお知らせ……10
- ほのぼの広場……8
- ・きたみらいのホープさん
・記念の一枚
・プリティーウーマン
・わが家のアイドル
- 地域だより……6
- ほのぼの広場……8
- ・きたみらいのホープさん
・記念の一枚
・プリティーウーマン
・わが家のアイドル
- 季節の薫り……2
- 表紙紹介……2
- 「人に優しく、挨拶ができる人に」

特集 第14回きたみらい農業 協同組合通常総代会

4

表紙紹介

人に優しく、挨拶ができる人に

春の風が強く吹き、時折肌寒さを感じる4月上旬、宮本家を訪ねるとお父さんと一緒に陸駈(りく)くんが迎えてくれました。

陸駈くんは保育所のたんぼ組に進級し、ますます元気一杯です。最近はお母さんウオッチのまねや、おもちゃのトラクターで遊びます。

去年生まれた陸駈(よう)くんは最近つかまり立ちができるようになりました。「アー、ウー」と声も出せるようになったほか、離乳食も始まりました。お兄ちゃんのしていることに興味があり、よく後ろを追いかけます。

兄弟でケンカもせず、仲良く遊びます。陸駈くんはお兄ちゃん意識が芽生え、弟の陸駈くん(りく)に遊んでいるトラクターを取られても、「いしょ」と言って渡してあげます。好きな食べ物も二人ともバナナやイチゴなど果物です。

そんな二人にお父さんとお母さんは「兄弟で仲良く、人に優しく、挨拶ができる人になって欲しい」と話してくれました。

(高田 陽介)



【ご家族紹介】

前列左から～おじいちゃんの一男さん(68)、陸駈くん(4)、おばあちゃん(60)、陸駈くん(8ヵ月)
後列左から～お父さんの裕一さん(30)、お母さんのみなみさん(30)
作付内容: 水稲・玉葱・小麦など約25㍏

提出議案13件を承認 特別決議を採択

第14回JAきたみらい 通常総代会を終える

JAきたみらいは4月11日、北見市内のホテル黒部で第14回通常総代会を開き、総代368人（本人243人、代理7人、書面議決118人）が出席しました。提出13議案を全て可決し、「JA北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別決議」を満場一致で採択しました。



▲開会挨拶を述べる西川組合長



▲議長を務めた堺信幸さん(置戸 左)と伊藤幸司さん(訓子府 右)

28年度の農畜産物販売取扱実績は計画比12%増の約452億23百万円と報告。29年度の農畜産物販売取扱計画は423億99百万円とする事業計画を決定しました。

また、JAきたみらい青年部藤森秀志部長より「JA北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別決議」を力強く読み上げ、満場一致で採択されました。

最後に大坪専務の閉会挨拶の後、午後1時57分に全日程を終了しました。



▲議案を説明する齊藤常務(左)、佐藤常務(中)、高橋常務(右)



▲監査報告する和田代表監事



▲閉会挨拶を述べる大坪専務



▲特別決議文を読み上げる藤森青年部長



▲議案に挙手で賛成を表明する総代のみなさん



▲行政を代表して祝辞を述べる菊池一春訓子府町長

総代会に先立ち、北海道報徳社より「北海道報徳善行賞」を受賞した加藤国憲さん(置戸地区)と「宇都宮賞(乳牛改良の部)」を受賞した山内隆さん(北見地区)の両名が来賓、総代会に紹介されました。

総代会開会にあたり、齊藤常務の開会宣言に続き、出席者全員でJA綱領を朗唱しました。開会挨拶で西川組合長は「昨年は過去に例をみない大雨災害により甚大な被害発生と、収穫作業に大変苦慮した年だった。

厳しい環境下でも総じて平年作以上の収穫量を確保できたことは組合員各位の長年にわたる生産基盤の強化によるもの。本総代会においては、将来につながる建設的かつ貴重なご意見を皆様から賜りたい」と述べました。

引き続き、来賓を代表して菊池一春訓子府町長、瀬戸良憲北海道信用農業協同組合連合会北見支所長よりご祝辞をいただきました。

続いて、議長団に堺信幸さん(置戸地区)と伊藤幸司さん(訓子府地区)を選出。総代数393人、うち出席者368人で総代会が成立することを報告し、議案審議に入りまし



▲連合会を代表して祝辞を述べる瀬戸良憲北海道信用農業協同組合連合会北見支所長



▲「宇都宮賞(乳牛改良の部)」を受賞した山内隆さん(北見)



▲「北海道報徳善行賞」を受賞した加藤国憲さん(置戸)

総代からの質問・意見

提案された議案について5人の総代より以下の内容に関して質問や意見がありました。

- 議案第2号について
 - ・全農の農業経営事業について
- 議案第9号について
 - ・北海道信連に対する劣後ローンについて
 - ・剰余金処分案について
 - ・燃料価格の設定について
- 議案第10号について
 - ・職員の待遇について
 - ・有害鳥獣対策について
 - ・高齢者相談業務の検証について
 - ・産学官連携した人材育成について
 - ・GPSレベラーについて
 - ・玉葱の選果基準について

JA北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別決議

JAグループ北海道は、農協改革について自ら行う自己改革を基本とする考え方にに基づき、平成26年に定めた「JAグループ北海道改革プラン」を着実に進めるため、翌27年にJA北海道大会を開催し、「農業所得20%増大」「新規担い手の倍増」「サポーター550万人づくり」などのJA北海道大会決議事項の実践による自己改革を進めている。

我々は、平成29年度における大会決議事項の実践にあたり、農協改革集中推進期間の期限である平成31年度まで残り2ヶ年との危機感を共有し、組合員・JA・連合会・中央会がそれぞれの役割を再確認したうえで、力強い農業と豊かな魅力ある農村の実現を目指し、JAグループ北海道が一丸となり自己改革を着実に実践していく。

以上 決議する。

平成29年4月11日

きたみらい農業協同組合

JAきたみらい青年部西支部（星加陽平支部長）は4月11日、昨年から行っている秋まき小麦硝酸カルシウム試験の圃場巡回を行い、青年部、JA職員、普及センターの職員含め12人が参加しました。

この試験は近年、春先の降水量が少ないこともあり、干ばつ時の硝酸態窒素の有効性を検証するため、北海道有機株式会社より資材を提供してもらい実施しています。試験について星加支部長は「昨年は期待以上のデータが出ている。今年も良い結果が得られるよう部員全体で協力して実施していきたい」と話しました。

今年で2年目になる同試験では今後、幼形期、止葉期、刈り取り時に圃場巡回を行っていく予定です。

（菊池 光祐）



▲小麦の茎数を数える部員のみなさん

西地域 小麦試験圃場巡回
温根場・留辺蘂・相内

～JAきたみらい青年部西支部～



▲播種作業を行う八木沼朋紀さん

東地域 例年より早いスタート
北見

～春まき小麦の播種～

きたみらい管内では4月中旬から一斉に春まき小麦の播種が行われました。

管内で作付けされている春まき小麦「春よ恋」は、主にパン・ラーメン・ピザ生地に使用。豊かな風味とモチモチの食感が評価されており、全国の製粉会社へ出荷されています。

北見地区大正の八木沼幸子さんの圃場では4月17日に4.1畝を播種。今季の春まき小麦について朋紀さんは「融雪が進み、例年より早く播種できたので、春まき小麦の収量に期待したい」と話しました。

当JAの今季の春まき小麦作付面積は約1,300畝、生産量は約5,850トンを計画しています。

（高田 陽介）



地 域 だ よ り



きたみらい管内では4月下旬から水稲の播種が行われました。

管内で作付けされているもち米「きたゆきもち」はやわらかさと粘りが長持ちすることが特徴で、ホクレンから全国へ出荷されています。

端野地区三区のきたみらいもち米振興会沼崎栄治会長は4月21日、23日に播種を行いました。今季は約20畝を作付けする予定で、沼崎会長は「8年連続の豊作を目指して頑張りたい。去年は大雨災害があったが今年は何事もなく収穫を終えたい」と話しました。

当JAの今季の水稲（もち米）作付面積は約725畝、生産量は約3,900トンを計画しています。

（高田 陽介）

東地域 8年連続の豊作目指し
端野

～水稲の播種～



▲播種工程を確認する沼崎栄治会長

南地域 2牧場でバーンミーティング
訓子府

～きたみらい酪農青年部～



▲高倉英介さんから牛舎施設の説明を聴く部員のみなさん

きたみらい酪農青年部は4月20日、訓子府町の高倉牧場と(株)ニューパーチファームでバーンミーティングを開催しました。

バーンミーティングとは牛や牛舎設備を実際に見学し、飼養管理などの意見交換をするものです。当日は27人の部員が参加。高倉牧場の高倉英介さん、(株)ニューパーチファームの渡辺誠さんの説明に耳を傾け、牧場の概要や畜産クラスター事業により導入された牛舎施設内を見学しました。

この日、全日程を終え大橋部長は「同じメーカーでも牛舎の造りやデザインが違って、今後搾乳ロボット導入を考えている部員には良い機会となったのでは」と話しました。

今年度、きたみらい酪農青年部は視察や学習会など実施していく予定です。

（菊池 光祐）



きたみらいの
ホープさん



- 趣味は？
ゲーム
- 好きな食べ物は？
焼肉
- 農業で学び実感したことは？
就農して1年経ち、1日のサイクルは覚えましたが、新しく覚えることがたくさんあり年間を通しての動きはこれから勉強していきたいです。
また、生き物を間近にする仕事のため、日々生かされていることを実感しています。
- 今後の抱負は？
やはり農業は体が資本！ケガなく日々を大切に過ごし、今日できることをしっかりやっていきたいです！
(菊池 光祐)

峻邦さんは酪農専業経営の政博さん、祥子さんの次男で就農して2年目になります。

今日できることを
しっかりやっていく

温根湯地区・松山
としくに
畠山 峻邦さん(25歳)

Pretty Woman
ウーマン



魅力ある活動を!

上常呂地区・広郷
みゆき
川畑 美由紀さん(40歳)

今回はH29年度フレッシュミズ副会長の川畑さんに登場いただきました。(丸山 恵理)

◆ご出身、ご自身の性格は？

出身は美幌町です。性格は熱しやすく冷めやすい、行き当たりばったりで典型的なB型です(笑)

◆結婚はいつ?ご主人・お子さんは?

私が29歳のときに結婚しました。主人は星野源に似ていると言われます。子どもは9歳、6歳、4歳の女の子3人で、みんな動物や昆虫が大好きなわんぱく三姉妹です。

◆マイブームは何ですか?

最近、ミニティッシュボックス作りにハマり、家中の箱ティッシュを半分サイズにして、作ったボックスに入れて置いています。普段から家事の効率アップを考えるのが好きです(^ ^)

◆組織活動で楽しいこと、今後の抱負は?

組織活動の楽しいところは、普段聞けない講師の方のお話が聞けたり、仲間と体を動かして楽しく交流できることです。

今後の抱負は、多くの会員の方に楽しく参加してもらえ魅力ある活動を役員みんなで協力して考えていきたいです。

わが家のアイドル

共通点は照れ屋なこと

斉藤家を訪ねるとお母さんと一緒に玄関まで出迎えに来てくれた陽菜ちゃんと帆花ちゃん。

春から小学校に通い始めた陽菜ちゃんは元気いっぱい! 将来の夢はパティシエになること。お父さんの誕生日にお母さんと一緒にケーキを作ったことがきっかけです。

おしゃれが大好きな帆花ちゃんは、毎日自分で洋服を選んで保育園に通うほど。特にスカートが好きで、プリキュアに憧れています。

普段はケンカも度々だという2人ですが共通点は照れ屋なこと。恥ずかしいと、陽菜ちゃんはアメを食べているふりをして口をつぐんでしまい、帆花ちゃんは鼻が広がってしまうクセがあります。2人の可愛らしい様子が垣間見える取材となりました。

陽菜ちゃん、帆花ちゃんは斉藤宏幸さん・未来さん夫妻のお子さんです。(丸山 恵理)



▲陽菜ちゃん(左)と帆花ちゃん(右)
北見地区・美里
ひな
斉藤 陽菜ちゃん(6歳)
ほのか
帆花ちゃん(4歳)

記念の一枚



▲十勝管内 柳月スイートピア・ガーデンでの集合写真(上段の左から1番目が可知さんです)

いつまでも続けたい
絆の旅行

訓子府地区・北栄
かち とくみ
可知 篤見さん(64歳)



この写真は約10年前に「北栄1班」が毎年実施している日帰り旅行に行ったときの一枚です。

この旅行は北栄1班の先代12戸から始まり、40年以上も続いている恒例イベントです。

現在は6戸12人で毎年6月に小型バスを借り、主に買い物と温泉をメインに旅行しています。

可知さんに長く続いている秘訣を聞いてみると、「1班のメンバーは比較的年齢が近くて仲が良いから続いている」とのこと。

また、近年は日帰り旅行に加えて3年ごとに三泊四日の道外旅行を行っています。今年は実施年で11月に金沢旅行に出かける予定で、可知さんは「今から旅行に出かけるのがたいへん楽しみ」と笑顔で話してくれました。

(北島 太)

INFORMATION

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

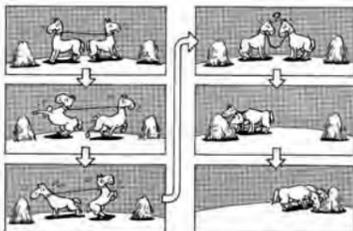
JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



本会北見支所が企画し、オホーツク地区のJA広報誌で連載している「今こそ！JA」その意義と役割」をご紹介します。



JAグループを巡る報道が多くされるなか、改めて私たち農業協同組合が果たす意義と役割を再認識するため作成しました。「協同とは」「日本の農協はなぜ出来たか」などをテーマとした、全12回の連載です。連載を通じて、組合員だけでなくJA広報誌を購読している地域のみなさんにも、私たちの成り立ちや活動内容を知ってもらい、共感して頂きたいと考えております。

JA北海道信連



平成20年度から、食と農業への理解を深めるきっかけとなることを願い、JAを通じて食と農のつながりを解説した教材本とDVDを道内の小学校へ贈呈しています。平成24年度からは特別支援学校も対象とし、今年度は全道1,086校に贈呈します。

本会から北海道教育委員会に対し教材の贈呈を行い、教材活用の協力を要請しております。



教育委員会へ贈呈

ホクレン



ホクレン女子陸上競技部は今年度の新体制について記者発表を行いました。足寄町出身の清水穂穂選手を主将に内山千夏、加藤風紗、河辺友依の新人3選手を加えた11名で全日本実業団女子駅伝や個人種目での目標達成に挑みます。今年度は同部発足30周年。清水主将は「30周年にふさわしい結果を出せるようチーム全体で取り組みたい。個人ではマラソンで日本代表となるよう頑張りたい」と抱負を語りました。



JA共済連北海道



農産物輸出を行う組合員やJAへの保障強化の観点から日本貿易保険と業務委託契約を締結しました。取引先の財務状況悪化等で代金回収不可能となった場合の損害を保障する「貿易保険」の保険料が10%引きで提供可能となります。また、農薬散布用ドローン本体の損害と接触事故による損害賠償の保障「ドローン総合保険」を共同開発。4月より共栄火災で引き受けを開始しています。今後組合員やJAの負担に配慮する保障提供に努めて参ります。

JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、ぜひ一読ください。



【連載】JA北海道大会実践フォーラム パネルディスカッション テーマ「協同の力で実現する 農業所得20%増大に向けて」④

北海道大学 大学院農学研究院 准教授 村上 光男 氏
JA北海道中央会 常務理事 村上 光男 氏
北海道大学 大学院農学研究院 准教授 小林 国 氏

「協同の力で実現する農業所得20%増大に向けて」と題したパネルディスカッションにおいて、パネリストの皆さんから頂いたご提言をシリーズでご紹介します。

最終回は、村上光男氏とコーディネーターの小林国氏の提言を紹介いたします。



村上 光男 氏
JA北海道中央会常務理事

販売・営農のスペシャリスト育成

営農指導には、2年前のJA改革プラン作成時の組織討議で、組合員から販売と営農のスペシャリストをつくってほしい、技術も経営管理も含めた営農相談に乗ってほしいという要望が大きな声でありました。

中央会では、10年以上前から、農業改良普及センターの支援を受けて営農相談員の現場での技術対応力づくりの基礎研修を耕種・畜種に分けてしています。

ホクレンも改革プランを設定し、販売、購買、営農支援を三位一体とする事業運営を基本に据えています。

それぞれの段階で、組合員とコミュニケーションを図りながらの事業展開が重要です。

JA間連携で販売力強化

販売力強化についてロットが少ないのであれば、JA間で栽培基準を統一してロットを増やす取組みもあるので、JA間での協同、連携を強めていくことも、作物によって必要だと考えます。販売は、協同組合なので、委託販売を基本で進めるのが当たり前だと思います。

その中で、組合員ニーズに合わせて、共計の一部見直し、あるいは一部品目の買取販売というように、必要なものは、全体的な合意を得ながら進めていくことが必要だと思います。

最後に一言

8月時点で、農業所得20%増大に向けた数値目標を持ち、実践しているJAが、半分以上あります。JAいわみざわの事例も含め、このフォーラムを通じて、全道各地で目標達成に向けた実践を図っていくをお願いいたします。



小林 国 氏
北海道大学 大学院農学研究院 准教授

地域全体の所得向上

所得向上は、どのように高く売ることが注目されがちですが、JAいわみざわでは、いかに生産性を上げるかという観点で農協の体制を作っていく、非常に農協らしい事例でした。

農業所得20%増大といった時、個人ではなく地域全体として、いかに所得向上していくかが目標になります。協同の力という点からは、やはり地域全体でいかに所得を上げるのかが、見失ってはならない軸と考えます。

昨今の議論について

生産資材に関して、規制改革推進会議では、組合員自らが作り、自らが利用する協同組合という農協の本質を見誤った議論が当たり前のようになされております。そこが噛み合わないまま、議論が進んでしまうと大変なことになるかれません。分かっていると主張するに留まらず、きちんと伝えることが本当に大事な点であると思います。

また、買取販売については、リスクをとって販売する体制をとりなさいという声があります。いろいろな見方があると思いますが、受託販売だと農協が販売努力をしない、だから買取りをすべきという言い方が当たり前のようにされています。販売努力をせず、ただ右から左へ流せば、いくらで売れても手数料が入るから良いと思っている農協の販売担当職員は一人もいないと思います。

逆に人の荷物を預かっているのだから、一生懸命売るとするのが協同組合の基本的なスタイルですし、そこが見えなくなっているのは問題であると感じます。

最後に一言

これから数値目標達成に取り組むJAもあるかと思いますが、何のための所得向上なのかという点を、同時に明記しながら、取り組みが全道的に広がれば良いなと思っております。

INFORMATION

第3回 理事会報告

4月20日、午前9時より第3回定例理事会が開催され、報告事項10件、決議事項6件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①内部監査（経営定期点検）報告について
- ②組合員状況報告について
- ③財務状況報告について
- ④玉ねぎ冷蔵貯蔵施設新築工事に係る入札結果について
- ⑤玉ねぎ加工処理施設工事に係る入札結果について
- ⑥オホーツクJA専務・常務会海外視察研修の実施について
- ⑦地域運営委員会要領見直しに係る協議結果について
- ⑧オホーツク管内におけるGpの取り進めについて
- ⑨H28年産馬鈴しょ・玉ねぎの選果改装状況について
- ⑩購買部門の連休対応について

【決議事項】

- ①出資減口について
- ②外部出資金の増口について
- ③行政庁に提出する業務報告書について
- ④理事報酬の配分について
- ⑤平成29年産青果物取扱要領（野菜）の設定について
- ⑥平成30年度酪農畜産政策・価格対策に係る組織討議について

きたみらい酪農青年部 通常総会を開催

きたみらい酪農青年部は4月7日、訓子府地区事務所で第9回通常総会を開催し、役員改選では新部長に大橋保登士さんを選出しました。

当日は、来賓や部員など約50人が出席し、28年度事業報告や収支決算、29年度収支予算など全議案を承認。事業報告では部員交流会や講習会を主な活動事業として報告を行いました。

就任挨拶で大橋新部長は「酪農青年部の部長として、全員で協力をし、今までの経験と知識を生かしてがんばっていきたい」と意気込みを話しました。



▲就任挨拶を述べる大橋新部長(左)



▲産業廃棄物運搬車の表示が義務化されております

※注意事項
●農耕用廃タイヤ、ビニールホースの回収は秋に行います。

本年の廃プラ回収につきまして、以下の日程で行います。受入日時・場所や排出区分など確認の上、持ち込み願います。

なお、未洗浄農薬空容器は再生処理ができないため、洗浄済みのものと比べ約10倍の処理費用が掛かります。空容器、空袋は洗浄して排出されることをお勧めします。

- 受入区分
 - ・農ビ類
 - ・農ポリ類
 - ・未洗浄農薬空容器
- 受入時間
 - ・午前 9:00~12:00
 - ・午後 13:00~15:30

予定日	受入場所
6月9日(金)	置戸堆肥センター
6月13日(火)	温根湯選果施設
6月14日(水)	上常呂広郷倉庫
6月20日(火)	西相内小麦乾燥貯蔵施設
6月21日(水)	西相内小麦乾燥貯蔵施設
7月4日(火)	端野選果施設
7月5日(水)	端野選果施設
7月6日(木)	訓子府選果施設

※6月20日・21日の西相内小麦乾燥施設は全地区の受入が可能です。

6月9日から各地区で
廃プラ回収のご案内

車を買うなら。JAで!

●C-HR S-T 4WD 2,540,180円(税込)~
●C-HR HYBRID S 2,220,257,400円(税込)~

●WAGON R HYBRID FZ 4WD CVT 1,470,960円(税込)~
●WAGON R FA 4WD CVT 1,202,040円(税込)~

●XV 1.6i-LEyeSight AWD CVT 車両本体価格 2,381,400円(税込)~
●XV 2.0i-LEyeSight AWD CVT 車両本体価格 2,824,400円(税込)~

●SUZUKI CARRY 売れています!
JA特別パッケージ
KKCU-L2 4WD/5MT
お支払い総額 **99.9万円**~

【お問合わせ先】 JAきたみらい 燃料自動車グループ 常呂郡訓子府町駒里44番地2 生産資材拠点センター (☎ 0157-47-2099)

販売事業



出荷した時点で代金が支払われる「買取販売」を求める声もあります。買取販売は肉や小豆など一部の作物で行われていますが、農畜産物の買取にはその時々価格差といったリスクの回避が重要であり、大量の買取は資金調達などの面からも難しいのが現実です。農畜産物の特性を考慮しつつ委託販売と買取販売を組み合わせながら有利な販売を展開していく、これがJAの販売事業のあるべき姿ではないでしょうか。

【連載】今こそJA! ~その意義と役割~

第7回 JAの販売事業 ①「委託販売」と「買取販売」

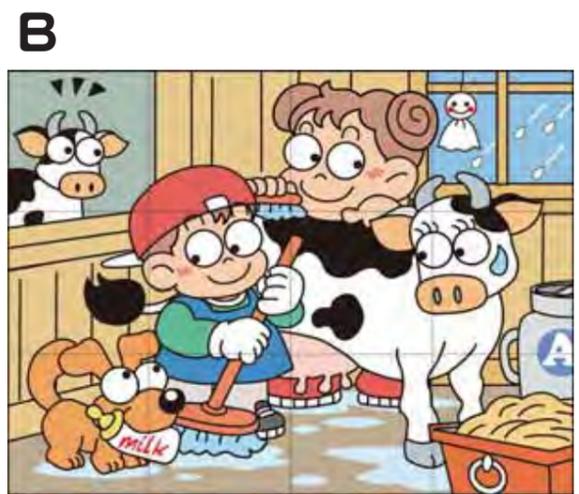
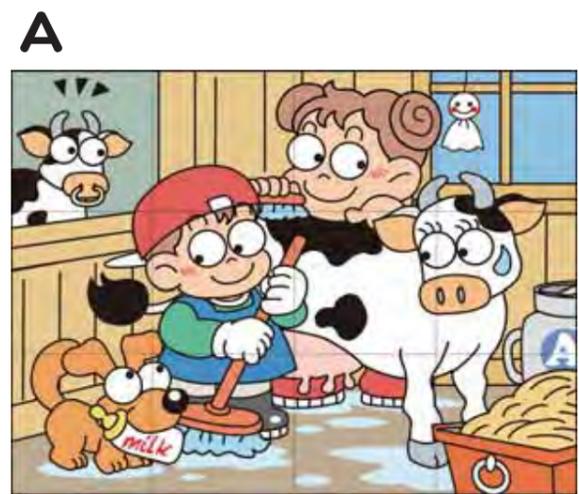
最近、国の規制改革会議が1年以内にJAの委託販売を廃止し、全量を買取販売に転換すべきとの提言を行ったとのニュースが報じられました。今回は組合員にとってかわりが深いJAの販売事業について考えてみましょう。

JAの販売事業は、組合員がJAに自ら生産した農畜産物の販売を委託する「委託販売」の形が主力になっています。JAは委託された農畜産物を販売し、手数料を差し引いた代金を組合員に渡します。委託販売は同じ種類の農畜産物をJAの地域全体から集めることで規模の経済性が発揮され、さらに品目によっては需給調整や付加価値の向上のため、農畜産物を一定期間貯蔵したり、加工するなどして市場や量販店に対して価格交渉を有利に進めることができます。こうして全道段階で結集したものがホクレン、さらに全国段階につながって全農という形になり、次第に販売力は強化されていくのです。

こうした委託販売は米や生乳など全道規模で大量に取り扱う農畜産物に向いていますが、販売価格の確定までに時間がかかり、年度をまたぐこともあるといったデメリットがあります。このため、組合員からは農畜産物を

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

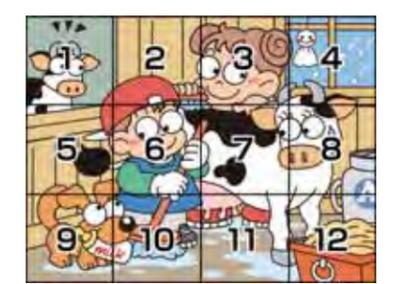


4月号まちがいさがしの当選者

4月号のまちがいさがしの答えは「1、3、8、10、11」でした。正解者30名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。 ()内は地区名

仁義 泰明さま (温根湯) ・羽馬 舞子さま (温根湯)
 斉藤 美恵子さま (相内) ・笛田 悟さま (置戸)
 平塚 志葉さま (訓子府) ・小坂 遥佳さま (訓子府)
 伊藤 聖子さま (訓子府) ・黒須 来春さま (北見)
 熊野 智文さま (上常呂) ・館野 二美江さま (端野)

以上の方々には、JAきたみらいの「大正金時と鶏肉のキーマカレー」2箱をプレゼント致します。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、JAきたみらいの「玉ねぎと牛すじのカレー」2箱をプレゼント致します。

い つも、色々な地区の写真を楽しみにしています。
(温根湯地区 羽馬 舞子)

編集委員も毎回いろいろな人との出会いを楽しみに取材に出かけています。我々の撮った写真が楽しんで頂いていると思うと励みになります。これからも頑張ります。

野 菜ソムリエのジャガイモのプロフィール勉強になりました。4月から弟が1年生になりランドセルと毎日たのしく学校へ行っています。
(訓子府地区 匿名希望)

休みの日はジャガイモ料理に挑戦してみたい。弟さんはランドセルがとってもお気に入りのようです。

小 学2年生になりました。少し遠いけど毎日歩いて学校に行っています。間違い探し大好きです。
(留辺蘂地区 坂下みちる)

小学校まで2キロくらいあるのかな？スゴイね！毎日、おもしろいランドセルをせめて歩くつよいからだになるよ。今月号もまちがいさがしをたのしんでね！

4 月に入り、暖かくなりましたね。いよいよ、今年も農作業の始まりですね。ケガなど無いように気をつけて頑張りましょう。
(相内地区 高橋美智子)

いよいよ、本格的な農作業の季節がやって参りましたね。農作業事故がないように願っています。

VOICE 読者の声



ピーマンのプロフィール

【分類】ナス科
 【原産地】中南米
 【和名】甘唐辛子、西洋唐辛子
 【おいしい時期(旬)】6～8月
 【主な栄養成分】カロテン、ビタミンC、E、カリウム、ピラジンなど

ピーマン

～種類豊富なトウガラシの仲間～

見分け方



保存方法

水分があると傷みの原因になるので、保存する前によく拭き取る

一度カットしたものは、傷みやすい種とわたの部分を取り除いてからラップで包み冷蔵庫へ

楽しみ方・食べ方のコツ

苦味の強い種とわたの部分をきれいに取り除いて調理すると食べやすく、口当たりや見た目も上品に

皮を下にしてまな板に置き、手で押さえて平らに整えてから切るとうりやすい

青臭さが気になる時には、さっと湯通しや油通しすると色も鮮やかになる

肉厚の品種は薄皮をむくと滑らかな食感になり、ドレッシングやソースなどなじみやすい

生姜の強い種とわたの部分をきれいに取り除いて調理すると食べやすく、口当たりや見た目も上品に

ピーマンのいろいろ



ピーマンのじみツ



ピーマンのチカラ

香り成分であるピラジンは血液中の血小板の凝固を抑える働きがある。特にビタミンCの含有量が多く、肌や骨、血管を健康に保つ効果、血中のコレステロール値を下げる働きもあるよ

抗酸化作用の強いE系級の栄養素が豊富にそろっているんだ

ビタミンACE

ビタミンE

カロテン

赤ピーマン

緑のピーマン

大航海時代にコロンブスがスペインにトウガラシの辛味種を持ち帰り、香料としてヨーロッパに伝わり、世界中に広まったとされている

日本には江戸時代にトウガラシが入り、たとわれているが、甘味種は明治初期に米国から導入された

緑色のピーマンは未熟なうちに収穫したもので、調理の下処理も簡単

平たく、柿やトマトのような形が魅力の青臭さが少なく、甘味があり、生食に向いている

肉厚の大型種。多様な色と甘さを生かして、サラダやマリネなどに利用される。黒色は加熱すると緑色に戻るので、生食がお薦め

バナナのような形をしていて、熟すと緑色からクリーム色、黄色、オレンジ、赤色の順に変化する。サラダなど生食だけでなく加熱調理にも向く

ピーマンの語源である「ピマン」はフランス語で「トウガラシ」のこと

完熟させたカラピーマンは苦味がなくて甘味が強いので食べやすいよ



【材料：4人分】

- パプリカ（赤・黄）……………各1個
- ツナ缶（70g）……………3缶
- 合わせ調味料など
- マヨネーズ……………大さじ2
- 白みそ……………大さじ1
- トマト（みじん切り）……………大さじ1
- タマネギ（みじん切り）……………大さじ1
- オリーブ油……………適宜
- パン粉……………適宜
- パルメザンチーズ……………適宜
- こしょう……………適宜
- パセリ……………適宜

パプリカのツナグラタン

【作り方】

- ①パプリカは縦4等分にして種を取り除く。
- ②ボウルに油を切ったツナを入れ、合わせ調味料などを混ぜ合わせる。
- ③①に混ぜ合わせた②を載せ、オリーブ油を入れたフライパンで焼き色を付ける。
- ④予熱したトースターにアルミホイルを敷き、③を5分焼き、パン粉とパルメザンチーズを掛け1分焼く。
- ⑤仕上げに、こしょう・パセリを振って出来上がり。

メモ

フライパンで焼くときは、中火でじっくりと焼くと甘味が引き出せます。



【材料：4人分】

- ピーマン……………6個
- ごま油……………大さじ2
- いりごま・一味とうがらし……………適宜
- 合わせ調味料
- しょうゆ……………大さじ1
- みりん……………大さじ1
- 料理酒……………大さじ1
- 砂糖……………小さじ1

ピーマンのきんぴら

【作り方】

- ①ピーマンは縦半分に切り種を取り除き、細切りにする。
- ②フライパンにごま油をひき、強火で熱する。
- ③細切りにしたピーマンを強火のまま20秒炒め、合わせ調味料を入れ10秒炒める。
- ④器に盛り、上から一味・いりごまを掛けて出来上がり。

メモ

できるだけ短時間で調理して、食感を残しましょう。

編集後記

- ・コブシやサクラの花が咲き、いよいよ、豊作を願い春作業が本格化しましたね。だんだんと春小麦やビートの芽が顔を出し、玉葱の苗が緑色に染めていく圃場を見るとなんだかウキウキしていくのは私だけでしょうか？
- ・先日、JA新入職員も農業実習で玉葱移植などに奮闘。実習先の家族のみなさまに温かくむかえられ、長い人生の貴重な体験と良い思い出になったことでしょう。（北島 太）

JAきたみらい概要

（平成29年4月12日現在）

- ・組合員数（正） 1,721人
- ・組合員数（准） 6,226人
- ・組合員戸数（正） 1,057戸
- ・貯 金 105,204百万円
- ・貸 出 金 12,694百万円
- ・出 資 金 4,973百万円